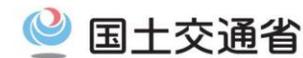


情報提供

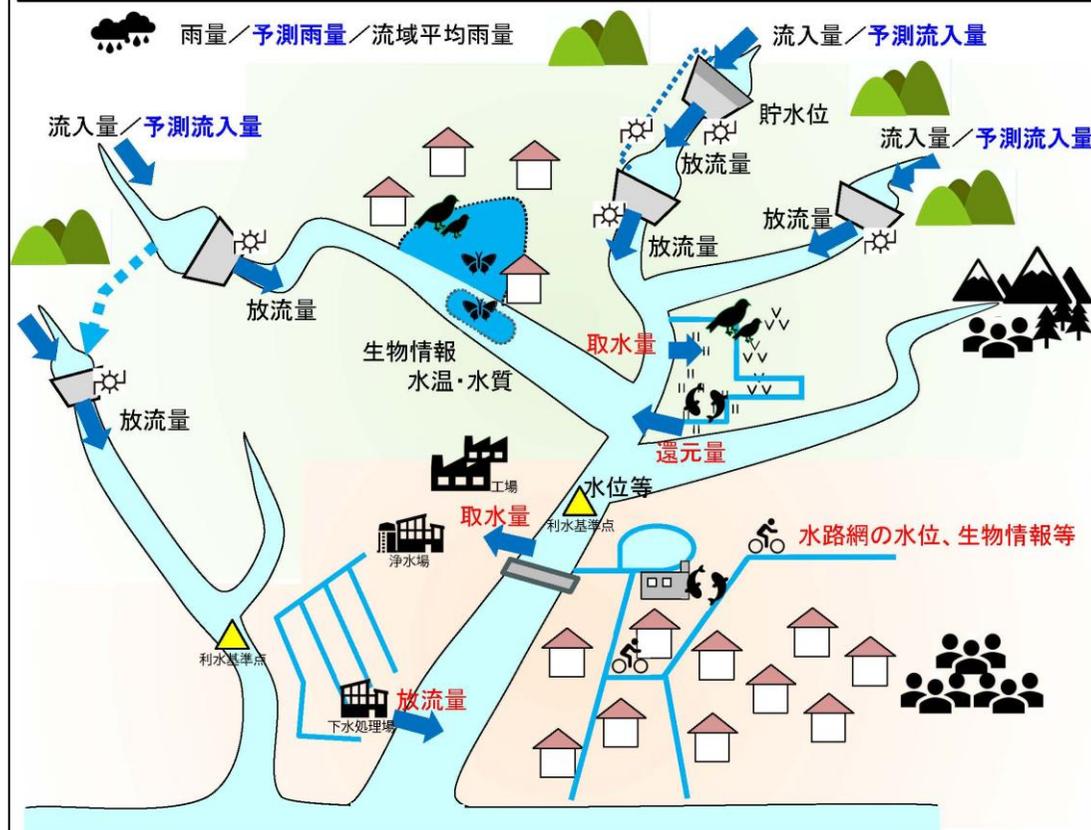
筑後川流域において観測されている各種データについては、一般公開に向け整理・検討を進めており、答申資料に示されている流域内のデータ共有イメージを参考に、令和7年度末までに可能な範囲でデータの提供を行う予定としています。

【出典：流域総合水管理のあり方について 答申 参考資料 令和7年6月】

(3) 流域の関係者間の流域内のデータ共有・公開



- 貴重な水資源の有効活用を流域の関係者で積極的に議論するためには、その基礎となる河川・流域に関する様々なデータを把握・共有することが重要。
- データ共有が各利水者等にもたらす利点について整理するとともに、共有されたデータを活用できる情報となるよう整理し、関係者が共通理解・リテラシーを高めるとともに、情報提供が提供者の不利益や過度な負担とならない仕組みの構築が必要。



※ 利水専用ダムを含む流域単位で観測・予測データの統合的共有を進めているところ(令和7年度末まで)

データ種別	基本的な把握状況	
ダム関係(利水専用ダム除く※)	貯水位	リアルタイム(10分ごと)に把握
	流入量	リアルタイム(10分ごと)に把握
	放流量	リアルタイム(10分ごと)に把握
	流域平均雨量	リアルタイム(10分ごと)に把握
	予測流入量	リアルタイム(10分ごと)に把握 ※降雨予測は気象庁
	水温・水質	月1回把握
河川関係	生物情報	定期調査(河川水辺の国勢調査)
	水位/予測水位	リアルタイム(10分ごと)に把握 ※降雨予測は気象庁
	雨量/予測雨量	リアルタイム(10分ごと)に把握 (レーダ雨量は1~5分間隔) ※降雨予測は気象庁
	水温・水質	月1回把握
	取水量	日単位の取水量(許可水利権)を、 取水者からの事後報告(年1回または月1回)により把握
	還元量、放流量	共有されていない
流域関係	生物情報	定期調査(河川水辺の国勢調査)
	水路網の水位・流量・水温・水質	把握していない
	水路網における生物情報	把握していない